

香港の見どころ

まずは「ビクトリア・ピーク」から香港全体を眺めましょう。昼間は高層ビル群を、夜はまばゆい夜景を一望することができます。



こちらは、光と音楽のレーザーショー「シンフォニー・オブ・ライツ」。近隣から眺めるのも良いですが、ツアーに参加して船上から見るのも素敵ですね。世界最大の光と音のショーはギネスにも認定されています。



テーマパークがいくつもある香港。そのうちの1つ、香港ディズニーランドでは、日本のディズニーリゾートよりも、キャラクターに出会う確率が高いそうです。一緒に写真を撮るのも楽しみですね。



2020年登別市市制施行50周年記念

第3回国際理解講座

2019年8月26(月) 18:00~

講師：馮 穎恩(ヒョウ ウェンヤン)さん
(香港出身)



香港の歴史と概要

香港は、中国・深圳(シンセン)の南側に位置し、九龍半島を中心として、230以上の島々を有しています。1842年アヘン戦争終了時、中国がこの地をイギリスに割譲したことで、**イギリスの植民地**となり、現在知られている「香港」が誕生しました。その後、長いこと西洋と東洋を繋ぐ国際貿易の拠点としての役割を担ってきました。1997年7月1日イギリスから**中国へ返還**され、中国の**特別行政区**となりました。これにより、資本主義体制・独立的な司法制度・自由貿易・言論の自由など、**中国本土とは異なった「高度な自治」**が認められています。さまざまな歴史的变化を経て、扱う産業が製造業から金融業やサービス業に変わっても、**エネルギーが豊富なアジアの大都市**として、香港は日々発展を続けています。「風水」を大切にし、ゴミやタバコの**ポイ捨ては罰金**です！通貨は**香港ドル**。



言語と多文化

中国系民族が人口の約**91%**を占める香港。そして全人口の約**88%**が、中国本土では少数派の「**広東語**」を話しています。その他「客家」、「潮州」などの方言もあります。また、イギリスからの返還を機に、標準中国語も普及しました。また、**英語**もとてもよく普及していて、官公庁やビジネスにおける優先言語は英語です。公的な標識や交通機関のアナウンス、レストランのメニューなども、ほとんど**英語と中国語が併記**されています。



美味しい中華をご賞味あれ！

香港では、中国大陸からの移住者により、各地の中国料理を楽しめます。「香港式」料理は、西洋料理や日本料理を香港風にアレンジしたもので、香港でしか食べられません。お茶を飲みながら、点心をいろいろ食べる「**飲茶**」も気軽に楽しめます。みなさんは、香港に行ったら何を食べてみたいですか？

